



PatentWeb
Home



Edit
Search



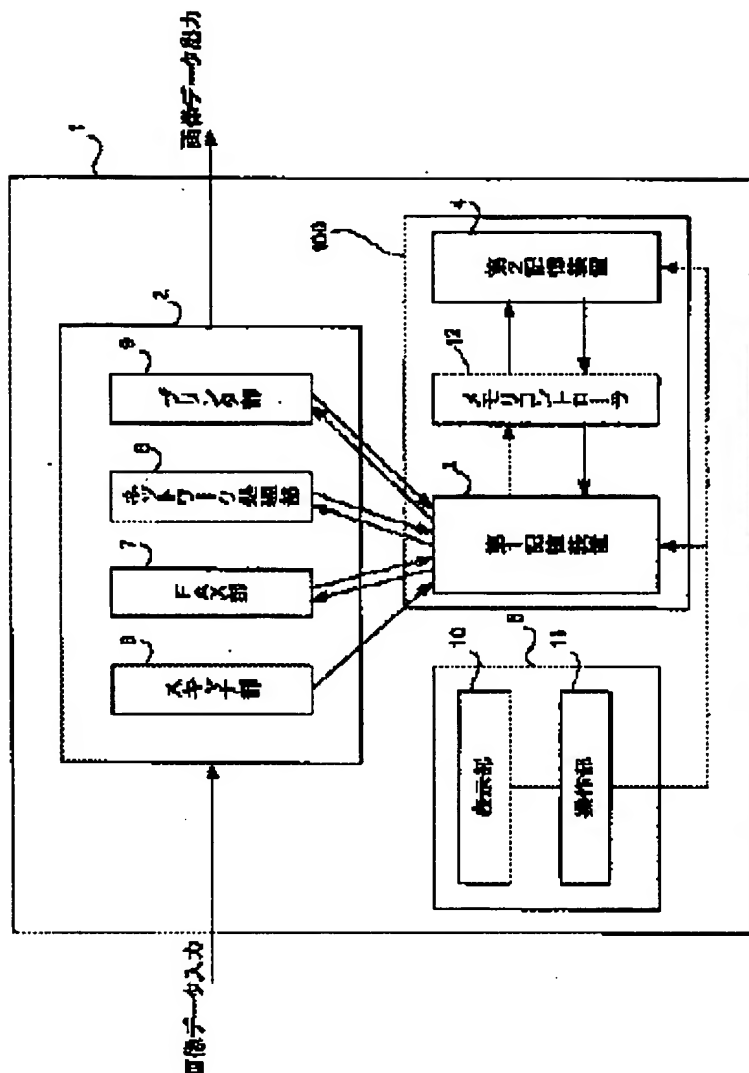
Return to
Patent List



Help

Include in patent order

MicroPatent® Worldwide PatSearch: Record 1 of 1



Family Lookup

JP2003298821

IMAGE OUTPUT DEVICE

SHARP CORP

Inventor(s): ;TOKI SHINSAKU

Application No. 2002101570 , Filed 20020403 , Published 20031017

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an image output device provided with an image storing means for storing image data that has been outputted in particular so as to be reusable.

SOLUTION: This image output device 1 applies output processing corresponding to the form of image data to a plurality of types of image data of forms/ aspects different from one another and is provided with an image storing means 100 for classifying and storing the outputted image data in each form of the image data. Since the image data that has been once outputted is stored in the image storing means 100, when the once outputted image data is desired to be reoutputted due to a print error, the shortage in the number of printed copies or the like, the time and effort of reinputting the same image data can be omitted to reduce the load of the device, reoutputting the image data in a short

period of time.

Int'l Class: H04N00121 B41J00530 G06F00312 H04N00100

MicroPatent Reference Number: 002885025

COPYRIGHT: (C) 2004 JPO



PatentWeb
Home



Edit
Search



Return to
Patent List



Help

For further information, please contact:
[Technical Support](#) | [Billing](#) | [Sales](#) | [General Information](#)

＜03R00075＞
第01版 第33253

〔0005C〕特許開発書 渡田明

特開2003-298821 (P2003-298821A)

(19) 日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-298821
(P2003-298821A)

(43) 公開日 平成15年10月17日 (2003.10.17)

(5) Invention	発明記号
H04N 1/21	F1
B41J 5/30	H04N 1/21
G06F 3/12	B41J 5/30
H04N 1/00	G06F 3/12
	H04N 1/00

F1	特許(参考)
H04N 1/21	2C187
B41J 5/30	Z 5B021
G06F 3/12	B 5C062
H04N 1/00	C 5C073

審査請求 未請求 請求項の数 4 OL (全 11 項)

(21) 出願番号 特開2002-101570(P2002-101570)

(71) 出願人 000065049
シャープ株式会社

(22) 出願日 平成14年4月3日 (2002.4.3)

(72) 発明者 大坂府大阪市阿倍野区長池町22番22号
近木 賢作
大坂府大阪市阿倍野区長池町22番22号
シャープ株式会社内

(74) 代理人 110000062
特許業務法人第一監業特許事務所

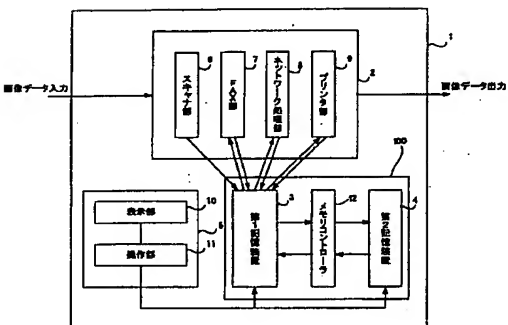
最良項目に絞る

(54) 発明の名称 画像出力装置

(57) 要約

【課題】 特に、出力処理後の画像データを再利用可能なように記憶しておく画像記憶手段を備えた画像出力装置の提供。

【解決手段】 画像出力装置 1 は、相互に異なる形態／態様の複製種類の画像データを、画像データの形態に対応した出力処理を行うものであり、出力処理した後の画像データを、画像データの形態毎に分類して記憶／保存する画像記憶手段 100 を備える。一旦出力処理を行った画像データが画像記憶手段 100 に記憶／保存されているため、プリントミス、印刷部数の不足等に、もう一度出力した画像データを再度出力させたい場合に、もう一度同じ画像データの出力を行う手間を省くことができ、装置の負荷を軽減でき、短時間で画像データの再出力を行うことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 相互に異なる形態／態様の複製種類の画像データを、画像データの形態／態様に対応した出力処理を行う画像出力装置において、
出力処理した後の画像データを、該画像データの形態／態様毎に分類して記憶／保存する画像記憶手段を備えたことを特徴とする画像出力装置。

【請求項 2】 前記画像記憶手段は、出力処理された画像データを記憶／保存する第 1 の画像記憶部と、記憶領域が前記画像データの形態／態様に区分されている第 2 の画像記憶部と、前記第 1 の画像記憶部に記憶／保存されている画像データを該画像データの形態／態様毎に複製して、前記第 2 の画像記憶部の前記画像データの形態／態様に対応する記憶領域に記憶／保存させる記憶管理手段とを備えている請求項 1 に記載の画像出力装置。

【請求項 3】 前記記憶管理手段は、出力処理された画像データを前記画像データの形態／態様毎に前記画像記憶手段の第 2 の画像記憶部に記憶／保存させるか否かの判定を行う機能とを備えている請求項 2 に記載の画像出力装置。

【請求項 4】 前記記憶管理手段は、出力処理された画像データを各画像データ単位毎に前記画像記憶手段の第 2 の画像記憶部に記憶／保存させるか否かの判定を行う機能とを備えている請求項 2 または 3 に記載の画像出力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、複写機、フロッピー、プリンタ等の機能を兼ね備えたデジタル複合機として実現される画像出力装置に関し、特に、出力処理後の画像データを再利用可能なように記憶しておく画像記憶手段を備えた画像出力装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来のデジタル複合機に搭載されている出力 (プリントアウト) 機能の 1 つに「複製 (プリント) 等」のプリントサーバー機能がある。これは、ネットワーク接続されたクライアント側から送られてきたプリントデータを出力 (プリント) することなく、そのままクライアントと共に一時的に蓄えておき、その後の指示で蓄えておき、蓄えておいたプリントデータをジョブとしてプリントアウトするものである。

【0003】 また、ネットワーク接続されたクライアント側から送られてきた画像データ (プリント) することなく、一時的に蓄えておき、その後の指示で蓄えている画像データをプリントジョブの一覧から希望する複製のジョブを選択して 1 つのジョブとしてプリントアウトする機能 (バッチジョブ機能) もある。

【0004】 そして、これらの機能を以てプリント処理されたジョブの画像データは、基本的に、処理が完了した段階で装置内のハードディスク等のメモリから消去

される。

【0005】 ところが、近年では、プリントジョブを終了しても、入力された画像データを装置内のメモリに保存しておく構成が提案されている。この構成によれば、一旦出力を行わずに複数回出力させることができる。また、再出力を行わずに複製出力させることができる。

【0006】 従来、例えば、特開平 11-175290 号公報には、プリントジョブを出力処理した以降も装置内に画像データを記憶しておき、その後、外部機器からプリントジョブの出力指示があれば、指示された出力部数、後処理の有無等の内容に基づいてプリントジョブを行うようにしたプリント装置が開示されている。

【0007】 また、特開平 11-225255 号公報及び特開平 9-284518 号公報においても、出力処理後の画像データを装置内に記憶する機能を備えた画像形成装置が開示されている。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、上記特開平 11-175290 号公報、特開平 11-225255 号公報及び特開平 9-284518 号公報に開示された従来例では、出力処理された画像データは、所定時間経過後に消去されるか、または、記憶されているも記憶された順に格納されているだけであり、装置内に多くの画像データが格納されると、後に所望とする画像データを探し出すことが困難になるという問題点が生ずる。

【0009】 本発明は、上記の問題点を鑑み成されたものであり、その目的は、所望とする画像データを容易に探し出すことができ、より短時間で画像データの再出力処理を行え、利便性の向上された画像出力装置を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】 本発明の画像出力装置は、相互に異なる形態／態様の複製種類の画像データを、画像データの形態／態様に対応した出力処理を行う画像出力装置において、出力処理した後の画像データを、該画像データの形態／態様毎に分類して記憶／保存する画像記憶手段を備えたことを特徴とする構成を有するものである。複写機、プリンタ、フロッピー装置としての機能を併せ持つ、いわゆるデジタル複合機等として実現され、キヤノンによって読み取った画像データ、パソコン (Personal Computer) 以下 PC という等で作成された画像データ、フロッピーで受信した画像データ等の相互に異なる形態／態様の複製種類の画像データを取り扱い、印字出力、ネットワーク転送、ファクシミリ送信等の前記画像データの形態／態様に対応した出力処理を行うようにした画像出力装置において、該画像出力装置は、出力処理を行った後の画像データを、前記印字出力したデータや、ネットワーク転送したデータや、フロッピー送信したデータ等のように、画像データの形態／態様毎に分類して画像記憶手

段に記憶/保存する。

【0011】本発明の画像出力装置は、前記画像記憶手段が、出力処理された画像データを記憶/保存する第1の画像記憶部と、記憶領域が前記画像データの形態/態様に区分されている第2の画像記憶部と、前記第1の画像記憶部に記憶/保存されている画像データを該画像データの形態/態様毎に整理して、前記第2の画像記憶部の前記画像データの形態/態様に対応する記憶領域に記憶/保存させる記憶管理手段とを備えている。出力処理した後の画像データを画像データの形態/態様毎に分類して記憶/保存しておく画像記憶手段が、出力処理した画像データを記憶/保存しておく第1の画像記憶部と、記憶領域が前記画像データの形態/態様に区分されている第2の画像記憶部とから構成され、さらに、記憶管理手段が、前記第1の画像記憶部に記憶/保存されている画像データを該画像データの形態/態様毎に整理して、前記第2の画像記憶部の前記画像データの形態/態様に対応する記憶領域に記憶/保存させる。

【0012】本発明の画像出力装置は、前記記憶管理手段が、出力処理された画像データを前記画像データの形態/態様毎に前記画像記憶手段の第2の画像記憶部に記憶/保存させるか否かの判定を行う機能を備えている。上記記憶管理手段は、出力処理した画像データを画像記憶手段の第2の画像記憶部に記憶/保存させておくか否かを、予め画像データの形態/態様毎に設定しておく。

【0013】本発明の画像出力装置は、前記記憶管理手段が、出力処理された画像データを各画像データ単位毎に前記画像記憶手段の第2の画像記憶部に記憶/保存させるか否かの判定を行う機能を備えている。上記記憶管理手段は、出力処理した画像データを画像記憶手段の第2の画像記憶部に記憶/保存させておくか否かを、予め各画像データ単位毎に設定しておく。

【0014】
【発明の実施の形態】本発明の一形態を、図面を用いて以下に詳細に説明する。なお、本発明はこの記載に限定されるものではない。本発明に係る画像出力装置は、複写機、フロッピー（以下FAXという）、プリント等の機能を兼ね備えたデジタル複合機に備えられたものであり、相互に異なる様々な形態の画像データの出力処理を行うという機能を有している。

【0015】図1は本発明の実施の形態における画像出力装置の概略構成を示すブロック図である。本発明の画像出力装置1は、相互に異なる形態/態様（以下単に形態という）の複数種類の画像データを、画像データの形態に対応した出力処理を行うものであって、図1に示すように、出力処理した後の画像データを、画像データの形態毎に分類して記憶/保存（以下単に記憶という）する画像記憶手段100を備えている。画像出力装置1は、図1に示すように、画像処理装置2、画像記憶手段

100及び操作パネル5から構成される。

【0016】本発明の画像出力装置1は、画像記憶手段100が、出力処理された画像データを記憶する第1の画像記憶部としての第1記憶装置3と、記憶領域が画像データの形態に区分されている第2の画像記憶部としての第2記憶装置4と、第1記憶装置3に記憶されている画像データを画像データの形態毎に整理して、第2記憶装置4の画像データの形態に対応する記憶領域に記憶させる記憶管理手段としてのメモリコントローラ12とを備えている。

【0017】本発明の画像出力装置1は、メモリコントローラ12が、出力処理された画像データを画像データの形態毎に前記画像記憶手段100の第2記憶装置4に記憶させるか否かの判定を行う機能を備えている。

【0018】本発明の画像出力装置1は、メモリコントローラ12が、出力処理された画像データを各画像データ単位となるジョブ単位毎に画像記憶手段100の第2記憶装置4に記憶させるか否かの判定を行う機能を備えている。

【0019】画像処理装置2は、図1に示すように、相互にそれぞれ異なる形態の画像データの出力処理を行う4つの画像処理部であるスキャナ部6、FAX部7、ネットワーク処理部8、プリント部9を備えている。画像処理装置2のスキャナ部6は、例えば、複写をしない画像データ等を、電子的に露光走査することによって読み取る。

【0020】画像処理装置2のFAX部7は、FAX受信部（図示せず）及びFAX送信部（図示せず）からなる。画像処理装置2のFAX部7のFAX受信部においては、相手先から受信した画像データを出力処理し、後述する画像処理装置2のプリント部9においてFAX受信した画像データをコピー用紙等の記録媒体に受信画像として記録する。ここで、画像処理装置2のFAX部7のFAX受信部においてFAX受信した画像データは、ネットワークを介して接続されたPC等に対して出力することが可能である。

【0021】また、画像処理装置2のFAX部7のFAX送信部においては、前記画像処理装置2のスキャナ部6で読み取られた画像データ等を出力処理して指示された送信相手先に対してFAX信号として送信する。

【0022】画像処理装置2のプリント部9は、先に述べたFAX受信した画像データの出力処理以外にも、ネットワークを介して接続されたPCよりプリント指示を受けた画像データ、或いは、画像処理装置2のスキャナ部6により読み取られた画像データについて出力処理を行い、画像データを用紙等の記録媒体にプリントアウトする。すなわち、画像処理装置2では、相互に異なる形態の複数種類の画像データについて、出力されるデータの形態に応じた出力処理を行う。

【0023】例えば、上記画像出力装置1を備えたデジ

タル複合機が複写機としての機能を果たす場合は、先ず、原稿等が画像処理装置2のスキャナ部6で画像データとして読み取られ、画像処理装置2のスキャナ部6で読み取られた原稿画像データは、色補正等の画像処理が施された後、画像処理装置2のプリント部9の図示しない画像形成部へ送られ、用紙等の記録媒体に記録される。

【0024】また、上記画像出力装置1を備えたデジタル複合機がFAXとしての機能を果たす場合は、画像処理装置2のスキャナ部6で読み取られた原稿画像データは、画像処理装置2のFAX部7にて送信したい受信相手のための出力処理が施された後、画像処理装置2のプリント部9の画像形成部にて印字出力されたり、相手先FAXへ送信出力されたりする。

【0025】さらに、上記画像出力装置1を備えたデジタル複合機がネットワークスキャナとしての機能を果たす場合は、画像処理装置2のスキャナ部6で読み取られた原稿画像データは、画像処理装置2のネットワーク処理部8を介して指示された送信先であるPC等に送信処理される。

【0026】また、ネットワーク接続されたPCから送られてきた画像データは、画像処理装置2のネットワーク処理部8を介して画像出力装置1に入力され、画像処理装置2のプリント部9から出力処理（プリントアウト）される。

【0027】画像記憶手段100の第1記憶装置3は、画像処理装置2にて出力処理された画像データを記憶する。そして、プリントミスや出力部数設定不足等により一度出力した画像データを再度出力したい場合には、上記記憶操作パネル5、或いは、ネットワーク接続されたPC等を利用することで、画像記憶手段100の第1記憶装置3より必要な画像データを取り出し（選択指示して）、画像処理装置2へ送る。

【0028】また、画像記憶手段100の第2記憶装置4は、第1記憶装置3に記憶されている画像データを後述するように整理して保存する領域である。

【0029】なお、画像記憶手段100の第1記憶装置3は、第2記憶装置4に比べて記憶容量が小さく設定されており、空き領域（記憶領域）が少なくなると、例えば、第1記憶装置3に記憶されている画像データのうちの古いものより消去されるという方法で新しい画像データは上書きして記憶される。或いは、画像記憶手段100の第1記憶装置3に記憶されたから一定時間経過後の画像データは、自動的に消去されるようにし、或いは、

【0030】一方、画像記憶手段100の第2記憶装置4に保存された画像データは、自動的に消去されることなく保存される。もし、画像記憶手段100の第2記憶装置4の空き領域がなくなった場合には、操作パネル5の表示部10にエラー表示等を表示することによりユーザーに知らせ、不要と思われる画像データを削除した

り、また、ハードディスクを増設したり、容量の大きなハードディスクに変更したりして記憶容量を増やす等の方法により、新たに空き領域を確保・追加する。

【0031】また、後述するように、上記画像記憶手段100の第2記憶装置4は、例えば、画像データの形態毎に付いた複数のフォルダを有し、画像データを種類に別けて整理して記憶することができ、

【0032】操作パネル5は、図1に示すように、表示部10と操作部11とから構成される。操作パネル5の表示部10は、画像出力装置1の動作状態等の情報を表示する液晶表示画面等である。

【0033】操作パネル5の操作部11は、表示部10の情報に基いて画像出力装置1を操作するための操作パネル5上に配置された各種ボタン、及び表示部10の表示画面10a上に設けられた透明のタブレット（透明タッチパネル）等により構成される。この操作パネル5の操作部11により、ユーザー等が外部から上記画像出力装置1の操作を行うことができる。上記操作パネル5の操作部11からの指示は、上記画像記憶手段100の第1記憶装置3、第2記憶装置4及びメモリコントローラ12に送られる。

【0034】上記メモリコントローラ12は、上記第1記憶装置3と上記第2記憶装置4との間のデータ転送制御を行い、上記第1記憶装置3に記憶されている画像データを、上記第2記憶装置4の画像データの形態に応じて各フォルダに整理して保存させることができる。そして、上記操作パネル5において、例えば、FAX受信した画像データとFAX送信という設定を行うと、メモリコントローラ12はその設定に応じた転送制御を行うことも可能である。

【0035】図2は本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の概略、及び、上記第1記憶装置の構成を示す概略図である。デジタル複合機20は、複写機としての機能を果たす他に、図2に示すように、ケーブル或いは光や電線による通信手段であるインターネット（FAX部）を介して相手先FAX21、相手先Internet-FAX22、PC-FAX送信用のPC23と接続され、FAX等の送受信処理を行うことができる。

【0036】また、デジタル複合機20は、図2に示すように、通信手段であるインターネット（ネットワーク処理部8）からネットワークを介して複数のPC24と接続され、PC24からのプリント指示に基づいて、送信されていた画像データをプリントアウトすることも可能である。

【0037】上記の構成により、本発明の画像出力装置1は、出力処理を行ったあらゆる画像データを、図2に示すように、一旦第1記憶装置3に記憶する。その後、後述するように、必要な画像データのみを長時間経過後

も消去することなく、適宜第2記憶装置4に整理保存することができ、これにより、例えば、以前にFAX受信した画像データについて、それを記録した用紙を破棄してしまった場合にも、再度相手先から送信してもらうことなく、その画像データを再度プリントアウトすることができ、

【00038】さらに、第2記憶装置4において、画像データは整理して保存されているため、多量な画像データが第2記憶装置4に保存されている場合にも、希望とする画像データを容易に探し出すことができ、短時間で画像データの再出力処理を行うことができる。

【00039】次に、上記第2記憶装置4の構成について、図3を用いて説明する。図3は本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の概略、及び、上記第2記憶装置の構成を示す概略図である。第2記憶装置4は、図3に示すように、複数のフォルダにより構成される。

【00040】上記第2記憶装置4の複数のフォルダは、図3に示すように、例えば、「コピー」、「プリント」、「FAX送信」、「FAX受信」、「Scan to PC」、「Scan to E-mail」、「Internet FAX受信」、「PC-FAX送信」等というように、各画像データの形態である各画像出力モードに応じた名称をつけることができる。

【00041】この場合、上記第2記憶装置4において、画像データは、上記画像出力モード毎に分類して保存される。また、上記第2記憶装置4は、必要に応じて個人フォルダ等も新設することも可能である。

【00042】なお、第2記憶装置4の「Scan to PC」フォルダには、画像処理装置2のスキヤナ部6により読み取った画像データをPC24へ取り込んだ場合の画像データが保存される。

【00043】第2記憶装置4の「Scan to E-mail」フォルダには、E-mail送信時に添付ファイルとして画像処理装置2のスキヤナ部6より取り込んだデータの画像データが保存される。

【00044】第2記憶装置4の「Internet FAX送信」フォルダ及び「Internet FAX受信」フォルダには、Internet回線を使用してFAX信号の送信または受信を行う場合の画像データがそれぞれ保存される。

【00045】第2記憶装置4の「PC-FAX送信」フォルダには、PC23より送信されたFAX信号としての画像データが保存される。

【00046】次に、本発明に係る画像出力装置1を備えたデジタル複合機20における画像データの操作パネル5による第1記憶装置3から第2記憶装置4への整理保存方法、図4を用いて説明する。図4は本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機における画像デ

(5)

タの操作パネル5による第1記憶装置3から第2記憶装置4への整理保存方法を示す説明図であり、(a)は操作パネル5において、第1記憶装置に記憶されたジョブリストを表示画面に表示した場合を示す図、(b)は(a)に表示された操作パネル5において、第2記憶装置における画像データ保存先を選択するための表示画面を示す図である。デジタル複合機20の操作パネル5の表示部100の表示画面10aには、図4(a)に示すように、第1記憶装置3に記憶されたジョブリスト(以下ジョブリストという)が表示される。

【00047】上記ジョブリストは、図4(a)に示すように、画像出力装置1にて出力処理を行った各画像データ単位となる各ジョブの様々な情報が、処理の新しい順に上から表示される。上記各ジョブの様々な情報は、例えば、図4(a)に示すように、処理日時(日付/時間)、画像出力モード(コピー)、ユーザー名、ジョブ名称、用紙サイズ、用紙タイプ、サイズ(片面または両面)、部数等である。

【00048】なお、ユーザー名とは、上記画像出力装置1を利用したユーザーの名称を示し、例えば、パスワードを入力して装置を使用する場合、パスワードによりユーザーが特定されて表示される。

【00049】また、ジョブ名称とは、例えば、PCより送信されたジョブにおけるファイル名等を示す。

【00050】さらに、上記ジョブリストを表示した操作パネル5は、図4(a)に示すように、アンプボタン13とダウンボタン14とを備えており、それぞれのボタン100の表示画面10a上に表示能力によって表示されないジョブ情報の一頁を上下または前後にスクロールさせることができる。そして、その中から必要とするジョブの部分にユーザーが押圧またはタッチすることにより、整理するジョブとして選択することができる。ここで、選択されたジョブは、図4(a)に示すように、操作パネル5の表示部100の表示画面10aに白抜き(白黒反転)で表示される等して他の選択されていないジョブとの違いを明示される。

【00051】例えば、図4(a)においては、最新のジョブであるジョブAが選択されており、この状態で操作パネル5の表示部100の表示画面10aの右上の矢印Aで示す「整理」ボタンの領域を押圧すると、操作パネル5は前述のように図4(b)に示すような表示に遷移する。

【00052】図4(b)に示す操作パネル5の表示部100の画面表示10aは、第2記憶装置4における画像データ保存先を選択するための図であり、上述した第2記憶装置4に含まれる複数のフォルダが操作パネル5の表示部100の表示画面10aに表示される。そして、ユーザーが希望する各フォルダの位置を押圧することにより、保存先のフォルダとして指定することができる。

9

【00053】上記の場合、フォルダは画像出力モード毎に分類されているため、図4(b)に示すように、例えば、図4(a)のジョブ1の画像出力モードに対応する矢印Bで示すフォルダ名「コピー」のフォルダを選択した上で、操作パネル5の表示部100の表示画面10aの右上の矢印Cで示す「OK」ボタンの領域を押圧することにより、第2記憶装置4の「コピー」フォルダ内にジョブ1の画像データが保存/管理されることとなる。

【00054】なお、本発明の実施の形態においては、上記第2記憶装置4は、画像データを画像出力モード毎に分類して整理保存しているが、本発明はこれに限定されず他の方法により、画像データを分類しても良い、例えば、上記画像出力装置1を利用するユーザー毎のフォルダを作成し、ユーザー別に画像データを整理保存しても良い。

【00055】また、上記画像データは、第2記憶装置4において、以下のように保存されても良い、すなわち、本発明の画像出力装置1は、上記第2記憶装置4において、予め指定した画像出力モードの画像データのみを保存するように設定することもできる。上記の設定は、操作パネル5の操作部11を操作することにより、ユーザーが設定することができる。

【00056】一例として、本発明に係る画像出力装置1を備えたデジタル複合機20の操作パネル5における、画像出力モード別ジョブ保存の要否の設定方法について、図5を用いて説明する。図5は本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の操作パネル5における画像出力モード別ジョブ保存設定を行う表示画面を示す図である。操作パネル5には、図5に示すように、各画像出力モード別に、「保存する」、「保存しない」という2つの選択ボタンが設けられている。これにより、各画像出力モードについて、出力処理した画像データを所定のフォルダとなる画像出力モード毎に確保されたフォルダ内に保存するか否かを選択することができる。

【00057】図5には、この設定の一例が示されており、選択したボタンが操作パネル5の表示部100の表示画面10aに白抜き(白黒反転)で表示され、各画像出力モード毎の既定状況が確認できるようにになっている。

【00058】メモリコントローラ12は、上記操作パネル5における画像データの第2記憶装置4における保存の要否の設定状況に基づいて、各画像データについて、第2記憶装置4に保存するか否かの判定を行うことができる。

【00059】上記の構成によれば、例えば、装置設置時に、ユーザーの必要に応じて、保存が必要な画像出力モードを予め設定しておくことができる。また、必要に応じて途中から画像データを保存すべきか否か設定しなおしたりすることも可能である。

【00060】また、本発明の画像出力装置1は、画像出力処理を行う画像データを画像データ単位となるジョブ

(6)

単位上で上記第2記憶装置4に保存するか否かを選択できる構成としても良い。

【00061】次に、コピーモード、FAX送信モード、FAX受信モード、Scan to PCモード、Scan to E-mailモード、Internet FAX送信モード、Internet FAX受信モードにおけるジョブ単位の画像データを出力処理中に、画像データの保存の要否を確認して設定する方法について、図6を用いて説明する。この場合、上記第2記憶装置4に画像データを保存するか否かの選択は、デジタル複合機20の操作パネル5により行われる。すなわち、デジタル複合機20の操作パネル5が上記第2記憶装置4に画像データを保存するか否かを指示する指示部としての機能を果たす。

【00062】図6は本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の操作パネル5におけるジョブ単位毎の画像データ保存設定を行う表示画面を示す図である。例えば、コピーモードの場合、ある原稿について操作パネル5の操作部11にてコピー操作を行うと、図6に示すように、操作パネル5の表示部100の表示画面10aには、「**中停止。Jのところにコピー中です。J」という装置の動作状態が表示される。

【00063】さらに、操作パネル5の表示部100の表示画面10aの下方には、図6に示すように、このジョブを保存しますか、Jと表示され、「保存する」、「保存しない」という2つの選択ボタンが表示される。例えば、一応「保存しない」を基準としているので、矢印Dで示す「保存する」ボタンを押すと、選択した「保存する」のボタンが白抜き(白黒反転)の表示となり、上記第2記憶装置4の「コピー」フォルダ内に上記原稿の画像データが保存されることとなる。

【00064】FAX送信モード、FAX受信モード、Scan to PCモード、Scan to E-mailモード、Internet FAX送信モード、Internet FAX受信モードという残りの各モードについても、上記と同様の方法によりジョブ単位で画像データを第2記憶装置4の各フォルダ内に保存することができる。

【00065】なお、上記のジョブ単位の画像データ保存設定操作は、コピーモード、FAX送信モード、Scan to PCモード、Scan to E-mailモード、Internet FAX送信モードにおいては、画像データ読み込み終了後に実施することが好ましい。

【00066】また、上記のジョブ単位の画像データ保存設定操作は、FAX受信モード、Internet FAX受信モードにおいては、画像データ出力処理後に実施することが好ましい。

【00067】さらに、プリントモード、PC-FAX送信モードにおけるジョブ単位の画像データ保存設定は、

10

11
ユーザが操作する画像データの送信元となるPCにおいて実施されることが好ましい。すなわち、PCが上記第2配線装置4に画像データを保存するか否かを指示する指示部としての機能を果たす。

【0060】次に、フロッピーディスク、PC-FAX送信モードにおけるジョブ単位の画像データ保存設定方法について、図7を用いて説明する。図7は本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機にフロッピーディスクに接続されたPCにおけるジョブ単位の画像データ保存設定を行なうフロッピードライバ画面を示す図である。例えば、フロッピーボードの場合、あるフロッピーディスクについて、PCと4がネットワーク等を介して接続されたデジタル複合機02におけるジョブ指示を行う前に、図7に示すように、PC02におけるフロッピードライバ画面5において、「データ保存」の設定ボタンにある「保存する」という選択ボタンをクリックする。

【0069】続いて、矢印Eで示すOKキー部分をクリックして上記7アイドルデータのプリント指示を行えば、デジタル複合機20内の画像出力装置1に画像データが送信され、出力処理（プリントアウト）が行われると共に、上記第2記憶装置4の1プリントジョブの内に上記画像データが保存される。

[0070] また、PC-FAX送信モードについても、上記と同様の方法により、ジョブ単位で画像データを第2記憶装置4の所定のフォルダ内に保存することができ。

【0071】上記の構成によれば、各画像データ単位で、或いは、ユーザの判断により画像データを第2記憶装置に記憶（保存）するか否かを設定できるため、各画像データのセキュリティレベルや機密保持の要否や再利用の可能性等に応じた判断ができる。

【0072】
 【発明の効果】以上に述べたように、本発明の画像出力装置によれば、一旦出力処理を行った画像データが画像記憶手段に記憶・保存されているため、フロッピー、印刷部等の不足等により一度出力した画像データを再度出力させたい場合に、もう一度同じ画像データの入力を行う手間を省くことができる。従って、装置の内部を削減できると共に、短時間で画像データの再出力を行うことができる。

【0073】さらに、上記画像処理手段には、上記出力処理した後の画像データを各画像データの形態、関係情報に分類して配列／保存しているため、後で所望とする画像データを容易に探し出すことができる。よって、より短時間で画像データの再出力処理を行うことが可能となる。特に、各種の画像データが処理可能なデジタル複写機の場合には、出力処理経路の数が多くなり、扱うデータの数も増加する傾向にあるが、そのような場合でも、有効且つ効果的である。

(7)

12

手段の第1の画像記憶部に出力処理した画像データを記憶・保存すると共に、画像記憶手段の第2の画像記憶部の記憶領域が画像データの形態・態様に区分けされているので、第1の画像記憶部に記憶・保存されている画像データを記憶管理手段により画像データの形態・態様に整理して第2の画像記憶部に記憶・保存されることである。【0075】また、画像記憶手段が、所定間隔処理した画像データを管理しておく領域である第1の画像記憶部と、特定の抽出した画像データをユーザが管理して管理しているが、領域である第2の画像記憶部に上に抽出されているので、必要とする目的の画像データに抽出したとき、早くここが可能となる。

【0076】さらに、必要な画像データを削除されてしまったリすることもなく、システムとして画像データの管理機能を備えた出力処理装置として便利な機器として提供することが可能となる。

【0007】本発明の画像出力装置によれば、上記記憶管理手段が、出力処理した画像データを画像記憶手段の第2の画像データ部に記憶・保存させておけることができ、画像データの形態/態様部に設定してあることができる。これにより、画像出力装置の設置先の使用環境に応じて、各画像データの形態/態様である画出力キー毎に、画像データを画像記憶手段の第2の画像記憶部に記憶・保存させるか否かをユーザーが選択することができ、その

【0070】本発明の画像出力装置によれば、上記記憶管理手段が、出力処理した画像データを画像記憶手段の第2の画像記憶装置に配属/保存させておくことができる。また、各画像データ単位毎に設定しておくことができる。これにより、出力処理を行う画像データの差をエディタレベル、画面出力装置の設置先の種類、ユーザの平均読取時間や再利用の可能性に応じて、各画像データを画像記憶手段の第2の画像記憶装置に配属/保存させるか否かをユーザが任意に設定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態における画像出力装置の電気的構成を示すブロック図。

【図2】 本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の概略、及び、第1記憶装置の構成を示す概略図。

【図3】 本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の概略、及び、第2記憶装置の構成を示す概略図。

【図4】 本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機における画像データの操作パネルによる第1記述装置から第2記述装置への整理保存方法を示す説明図。

【図5】 本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の操作パネルにおける画像出力モード別ジョブ保存設定を行う表示画面を示す図。

(8)

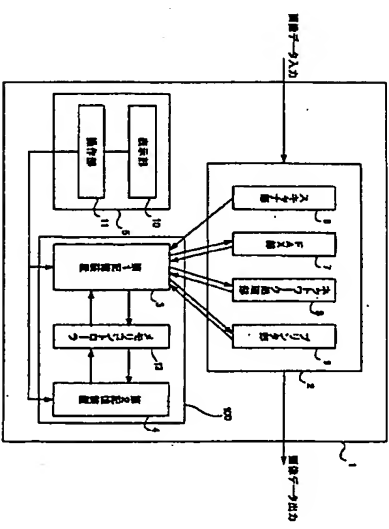
【図6】 本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機の操作パネルにおけるジョブ単位毎の画像データ保存設定を行う表示画面を示す図。

【図7】 本発明に係る画像出力装置を備えたデジタル複合機にネットワーク接続されたPCにおけるジョブ単位毎の画像データ保存設定を行うグラフィカル画面を示す図。

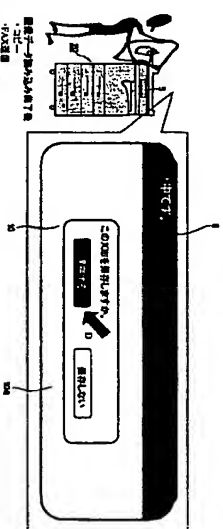
【符号の説明】

- 1 画像出力装置
- 2 画像処理装置
- 3 第1記憶装置 (第1の画像記憶部)
- 4 第2記憶装置 (第2の画像記憶部)
- 5 操作パネル
- 6 スキャナ部 (画像処理部)
- 7 FAX部 (画像処理部)

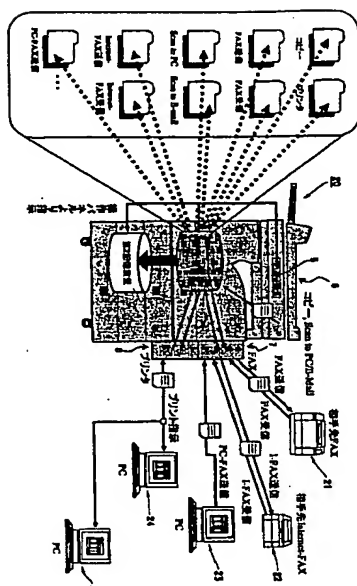
【図1】



【例6】

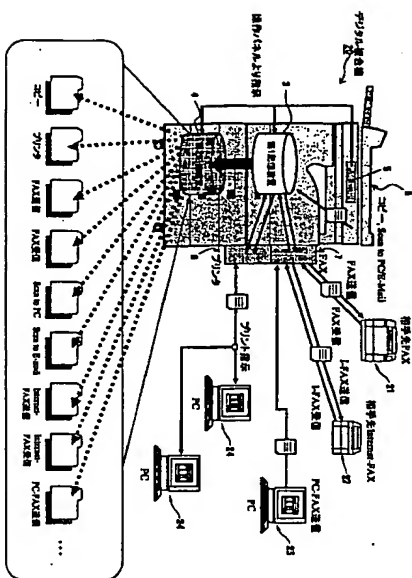


(9)

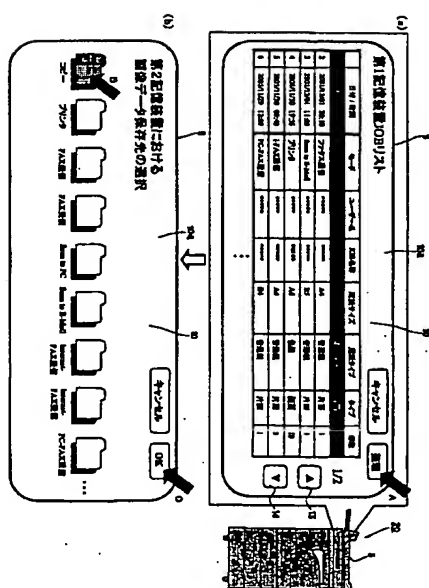


【図2】

【図3】

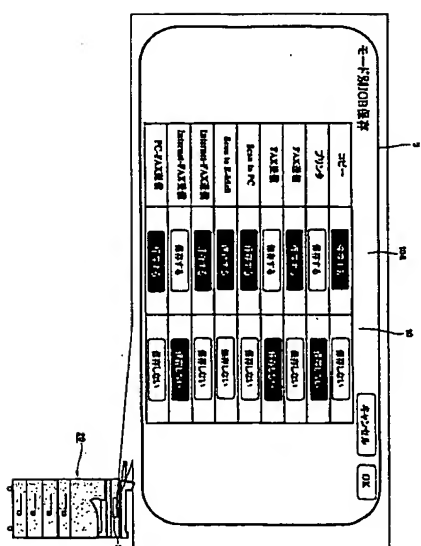


(10)



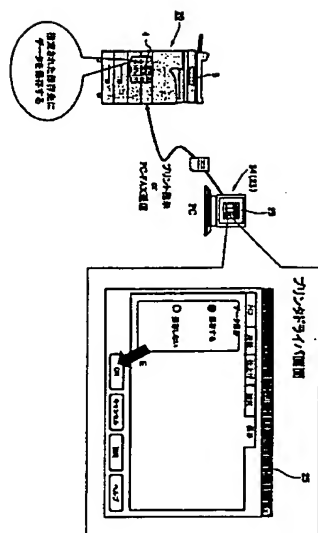
【図4】

【図5】



(11)

【図7】



フロントページの図

ファーム(参考) 2C187 AD03 AD04 AD14 AE07 BF19

FA01 FC02 FC21 GC10 JA05

SB021 AA19 DD00

SC062 AA02 AA05 AA14 AA30 AA35

AB17 AB22 AB38 AB42 AC02

AC04 AC22 AE01 AF14

SC073 AA06 AB12 BB03 CB02